

おきたま 社会教育情報

Vol. 127 令和3年2月号

令和2年度 第69回山形県自作視聴覚教材コンクール

標記コンクールに置賜地区から5点の作品を出品いただきました。先日審査会が行われ、下記の通り（最優秀3、入選1、佳作1）各部門で最優秀賞を獲得されるなどすばらしい結果でした。表彰式・作品鑑賞会では作品の上映・演示を通じた制作者の方々の交流も見られました。制作者の皆さま、おめでとうございます。各市町において郷土を知り愛するきっかけとなるよう大いに活用いただきたいと思います。

【学校教育部門】

〈最優秀〉[紙しばい] 「水の兄弟 最上川に行く」 安部 重子 様（南陽市）
〈入選〉[デジタルコンテンツ] 「子どもお料理教室-食中毒細菌に気をつけよう-」 平吹 登 様（長井市）

【社会教育部門】

〈最優秀〉[映像教材] 「ふるさとの名湯 赤湯温泉の謎」 南陽8ミリクラブ 様（南陽市）
〈佳作〉[映像教材] 「高島花笠踊り×観光地」 岩田 朋樹 様（高島町）

【児童生徒作品部門】

〈最優秀〉[紙しばい] 「びっきの恩返し」 飯豊町立飯豊中学校美術部様（飯豊町）

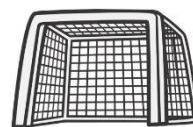


今後のスポーツ少年団指導者について

1 諸規程等の改正の背景・経緯

このたびの諸規程等の改正は、子どもたちのことを第一に考え、子どもたちによりよいスポーツ環境を整えることが目的です。

そのため、「スポーツ少年団の指導者が学び続ける環境を整えること」、「スポーツ少年団指導者が全員有資格者となること」が必要となります。



2 【指導者について】令和2年度以降の認定育成員・認定員の位置づけ

令和2年度からのスポーツ少年団指導者とは、日本スポーツ協会（JSPA）公認スポーツ指導者資格を持つ方となります。

令和元年度までスポーツ少年団指導者資格であった「認定員」は、令和5年度までの移行期間中にJSPA公認コーチングアシスタントへの資格移行手続き等によって、その資格をいかすことができます。

新たにスポーツ少年団の指導者するには、「スタートコーチ（スポーツ少年団）」を取得するか日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を取得する必要があります。「スタートコーチ（スポーツ少年団）」のカリキュラムでは、スポーツ少年団の理念や意義、ジュニア期におけるスポーツ指導等について学ぶことができます。

詳しくは、県及び市町スポーツ少年団本部、置賜教育事務所社会教育課にお問い合わせいただくか、日本スポーツ協会ホームページをご確認ください。

次世代の地域づくり中核人材育成事業 「おきたまの縁側」

今年度、次世代の地域づくり中核人材育成事業として、地域活動に興味関心の高い中高生や青年が青年ファシリテーターの指導・助言の下、講義や体験、企画・運営等の実践を通じて地域活動への理解を深め、地域づくりの次世代リーダーとしての資質を高めることをねらいに活動をしていきました。12月に予定していた「おきたま FREE カフェ」が、新型コロナウイルス感染拡大にともない中止となったため、代替イベントとして、1月31日（日）に「おきたまの縁側」を行いました。当日、青年ファシリテーターは「にんまる」に参集し、オン



ラインで行いました。高校生参画者の話してみたい内容について三つのグループに分かれて対話の時間を開きました。高校生が日頃から考えている進路に関わる話や教育について話をしました。参加者は自分の思っていることを本音で話し、交流することができました。

このイベント後も「おきたまの縁側」のイベントを継続していこうということで、2月に2回目の継続イベントを行ったところでした。今後も継続し青年の方や高校生がより一層、地域づくりのリーダーとしての資質を高めてほしいと思います。



第2回置賜地区青少年教育推進会議

2月16日（火）、オンラインで標記会議を開催しました。今回は、南陽市教育委員会社会教育課より青年教育事業について、置賜教育事務所からは「次世代の地域づくり中核人材育成事業」について話題提供を行いました。その後、「次世代の地域づくり人材育成の在り方について」というテーマでグループに分かれ、地域ボランティアの活性化やこれまでの取り組みの中で中高生と一緒にできるような新たな地域ボランティア活動の可能性について話し合いをしました。各グループの主な内容は下記の通りになります。

- ◎A グループ 中高生がかかわるきっかけづくりをいかに設けていくか。中高生の参加を進められるような活動をどのように計画していくか。白鷹町の読み聞かせボランティアの活動に中高生が参加できるような仕組みができないか。
- ◎B グループ 小中高生ボランティア活動に興味を持っている人を拾いこぼさないこと。ニーズの掘り起こしなど、地域の方や小中高生への網を広げつなぐことが大切だという話がなされました。
- ◎C グループ きっかけづくりが大切。地域活動をしている格好いい大人や楽しんでいる大人への「あこがれ」があると中高生は自然と惹かれるのではないかと。「あこがれるような大人」とのつながりを創り出していくことが大切ではないか。



これらの意見を踏まえ、地域における青少年のボランティア活動・地域活動が拡充していくよう情報収集と提供に努めるとともに、今後も様々な方々や団体等との連携を深めていきたいと思ひます。

※本情報紙の本文は、UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体を使用しております。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 TEL 0238(88)8242】